

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	水谷 健一郎
評価者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	上出 孝之

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	1	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	10,000	10,000	B	継続
							2	コンベンション誘致推進事業費	観光客全般	45,644	44,833	B	継続
							3	教育旅行誘致推進事業費	観光客全般	4,000	4,000	B	拡大
	課題2 石川ならではの魅力の発信	首都圏からの入り込み客数	千人	7,000 (H37)	4,269 (H28)	4,135 (H29)	1	東日本誘客促進事業費	首都圏観光客	34,185	34,066	B	拡大
							1	西日本誘客促進事業費	観光客全般	21,000	21,000	B	見直し
		観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	再掲	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	10,000	10,000	B	継続
							再掲	東日本誘客促進事業費	観光客全般	34,185	34,066	B	拡大
							1	プロスポーツチーム連携誘客促進事業費	観光客全般	4,080	4,079	B	継続
							2	誘客プロモーション事業費	観光客全般	15,000	15,000	B	継続
課題3 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	1	JR連携誘客キャンペーン事業費	観光客全般	11,500	11,500	B	継続	

※人数については暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主任主事 北本 聡			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943			

<事業の背景及び目的>
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、(公社)石川県観光連盟に対して資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- <事業の概要>
- 1 貸付額 10,000千円
 - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

- 【参考】実施事業内容
- 国内誘客に向けたプロモーション活動
 - (1) 本県を周遊する旅行商品づくりへの支援
 - (2) 観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - (3) 「いしかわ伝統工芸フェア」への出展
 - (4) 石川県観光ブランドプロデューサー活動費 など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753	

事業費						
(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	予算			51,000	10,000	
	決算			51,000	10,000	
一般財源	予算			0	0	
	決算			0	0	
事業費累計	0	0	0	51,000	61,000	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客プロモーション活動を行った結果、観光入込客数は、前年比約100.7%の約24,753千人、平成26年比も約114.5%と開業前を大きく上回った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けて、国内誘客プロモーション活動を展開する。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	コンベンション誘致推進事業費		事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
			根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主事 網谷 万由子			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3945			

<事業の背景及び目的>
県内で開催されるコンベンションに対して、開催に要する経費の一部を補助し、県外からの誘客を促進する。

<事業の概要>

支給対象	学会、大会、会議 ※展示会、スポーツ大会、コンクール、イベント、コンサートは対象外	
支給条件	人数	県外参加者100人以上
	規模	北陸地域(石川県、富山県及び福井県)を超える規模のもの
	会期	連続する2日以上であること ※会期にはコンベンション主催者が計画し、県内において実施する視察旅行を含む
その他	以下に該当するコンベンションは、補助対象外。 ①宗教活動、政治活動を目的とするもの。 ②営利を目的とするもの。 ③公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるもの。 ④国又は地方公共団体が主催、或いは運営に關与するもの。 ⑤国又は地方公共団体が補助金等の交付を受けるもの。ただし、県内の自治体がこの要綱と同様の趣旨で交付する補助金を除く。 ⑥開催順序が予め定められている持ち回りのもの。 ⑦本県で連続開催されるもの。 ⑧その他補助金の交付が適当でないと認められるもの。	
国際コンベンション要件	以下の3つの要件をすべて満たすこと。 ・外国人が20名以上参加すること ・参加者募集を日本国外に対しても行っていること ・開催地が複数国間で交代するものであること。或いは臨時的に1度きりの開催であること。	
補助金額	①基本補助(下記別表参照) ②バス補助: バス借上げ費用の1/3(上限100万円) ※県外参加者1,000人以上のコンベンションが対象。 ③加賀能登宿泊追加補助: 1,000円/人(上限50万円) ※金沢市を主会場とする県外参加者1,000人以上のコンベンションで、加賀・能登エリアに宿泊する場合。 ただし加賀・能登宿泊のためのバス助成を受ける場合は適用不可。	

県外参加人数(人)		国内	国際	県外参加人数(人)		国内	国際	県外参加人数(人)		国内	国際
100 ~ 199	8	100	2,100 ~ 2,199	168	4,100 ~ 4,199	328					
200 ~ 299	16	140	2,200 ~ 2,299	176	4,200 ~ 4,299	336					
300 ~ 399	24	180	2,300 ~ 2,399	184	4,300 ~ 4,399	344					
400 ~ 499	32	220	2,400 ~ 2,499	192	4,400 ~ 4,499	352					
500 ~ 599	40	260	2,500 ~ 2,599	200	4,500 ~ 4,599	360					
600 ~ 699	48	300	2,600 ~ 2,699	208	4,600 ~ 4,699	368					
700 ~ 799	56	340	2,700 ~ 2,799	216	4,700 ~ 4,799	376					
800 ~ 899	64	380	2,800 ~ 2,899	224	4,800 ~ 4,899	384					
900 ~ 999	72	420	2,900 ~ 2,999	232	4,900 ~ 4,999	392					
1,000 ~ 1,099	80	460	3,000 ~ 3,099	240	5,000 ~	400					
1,100 ~ 1,199	88	500	3,100 ~ 3,199	248							
1,200 ~ 1,299	96	540	3,200 ~ 3,299	256							
1,300 ~ 1,399	104	580	3,300 ~ 3,399	264							
1,400 ~ 1,499	112	620	3,400 ~ 3,499	272							
1,500 ~ 1,599	120	660	3,500 ~ 3,599	280							
1,600 ~ 1,699	128	700	3,600 ~ 3,699	288							
1,700 ~ 1,799	136	(上限)	3,700 ~ 3,799	296							
1,800 ~ 1,899	144		3,800 ~ 3,899	304							
1,900 ~ 1,999	152		3,900 ~ 3,999	312							
2,000 ~ 2,099	160		4,000 ~ 4,099	320							

(単位: 万円)

※収支が一致する額が交付上限

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753	

事業費					
(単位: 千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費 予算					45,644
事業費 決算					44,833
一般財源 予算					45,644
一般財源 決算					44,833
事業費累計	0	0	0	0	44,833

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	平成29年度の実績は、1千人以上の全国大会等が36件、参加人数が約210千人となり、件数・参加人数ともに開業前を大きく上回った。また、コンベンション誘致推進事業費補助金の交付件数は74件であり、全国大会の誘致および県外客の誘客に一定の成果があった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けて、県内で開催されるコンベンションの積極的な誘致を図る。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 教育旅行誘致推進事業費	事業開始年度 H15	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作成者	組織	誘客戦略課
	職・氏名	専門員 松林 憲吾
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線開業を契機に全国的な注目度が高まっている中、将来の石川ファン拡大、平日の宿泊施設・観光施設の利用増につながる取組みとして教育旅行誘致を重点事業の一つに位置付け、戦略的な誘致活動の展開を図る。

- <事業の概要>**
- (1) 誘致活動
- ① 三大都市圏の学校、旅行会社の訪問
 - ② 現地視察会の開催
 - ③ 教育旅行誘致資料の作成
 - ④ 北陸三県で連携した誘致活動の実施(北陸三県修学旅行フェアの開催等)
- (2) 修学旅行誘致戦略マネージャーの配置
- 北陸新幹線を利用する修学旅行の誘致強化に向け、修学旅行に関する専門的な知識や経験を有し、旅行会社や学校等との人的ネットワークを持つ旅行会社OBを東日本誘客推進室に配置

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753

事業費						
(単位:千円)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	2,000	2,000	2,000	2,000	4,000
	決算	2,000	2,000	2,000	2,000	4,000
一般財源	予算	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	決算	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
事業費累計		2,000	4,000	6,000	8,000	12,000

項目		評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	平成29年度の修学旅行の受入れの実績については、3大都市圏から78校が来県し、延べ宿泊人数は開業前に比べ約2倍の約15.4千人となっており、着実に成果を上げている。	
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	拡大	北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けて、平成30年度は、新たに宿泊施設向けの受入マニュアルの作成や、地元で体験できる教育プログラムの掘り起こしなどにより、受入体制を強化し、教育旅行の戦略的な誘致を図る。	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 東日本誘客促進事業費	事業開始年度 H22	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作成者	組織	誘客戦略課
	職・氏名	主任主事 絹川 由子
	電話番号	076 - 225 - 1543 内線 3948

<事業の背景及び目的>
 首都圏における認知度向上のため、交通事業者のネットワークを活用すること等により、効率的かつ効果的な情報発信を行い、誘客促進を図る。
 また、新幹線開業により増加する東北地方からの入り込み需要の更なる取り込みのため、JRと北陸三県が連携した新たな通年キャンペーンに合わせて、東北地方においても四季を通じた誘客の促進を図る。

- <事業の概要>**
【首都圏】
 (1) 首都圏鉄道事業者とのタイアップによる誘客促進
 ① 私鉄(京浜急行電鉄、京王電鉄、小田急電鉄、江ノ島電鉄、京成電鉄、東武鉄道)とのタイアップによる誘客
 ・電車内や駅構内でのポスターの掲出
 ・観光PRイベントの開催(グループの百貨店)
 ② JR東日本グループとのタイアップによる誘客促進
 ・山手線、京浜東北線等の首都圏主要路線における電車内でのポスターの掲出
 ③ 東京メトロとのタイアップによる誘客促進
 ・電車内ドア上モニターにおける観光PR映像の放映
 ④ 金沢港発着クルーズの情報発信
 ・JR東日本グループ、東急グループとのタイアップによる情報発信
 会員向け情報誌での広告掲載 など
 (2) 「ふるさと祭り東京2018」への出展
 ・東京ドームにて開催される「食」と「祭り」をメインとしたイベント(H30年1月)での観光PR
 食をメインとしたブース出展、祭りの披露 など

- 【東北地方】**
 (3) JR東日本グループとのタイアップによる誘客促進
 ・旅行会社店頭での販促キャンペーン、電車内広告 など
 (4) 日本郵便とのタイアップによる誘客促進
 ・郵便局窓口(主要100局)でのパンフレット配布
 ・郵便局イベントスペースでの観光PR など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	首都圏からの入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	7,000	2,426	2,419	4,542	4,269	4,135	

事業費						
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	18,300	18,300	28,300	21,300	34,185
	決算	18,300	18,300	28,300	21,300	34,066
一般	予算	18,300	18,300	18,300	1,500	26,243
	決算	18,300	18,300	18,300	1,500	26,181
事業費累計		18,300	36,600	64,900	86,200	120,266

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	首都圏からの入込客数については、首都圏での交通事業者のネットワークを活用すること等により、効率的かつ効果的な情報発信を行った結果、前年比約96.9%の約4,135千人と開業後の落ち着きが見られたものの、平成26年比約170.9%と開業前を大きく上回った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	認知度向上のための情報発信の取り組みに加え、新たに、大手私鉄グループの旅行会社と連携した誘客キャンペーンやインターネット広告を活用した観光情報の発信など、最近の旅行トレンドや地域毎の旅行特性も踏まえた戦略的な誘客プロモーションに取り組むことで首都圏からの更なる誘客の強化を図る。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 西日本誘客促進事業費	事業開始年度 H26	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作成者	組織	誘客戦略課
	職・氏名	専門員 佐々木 英雄
	電話番号	076 - 225 - 1544 内線 3950

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線金沢開業により高まった石川への関心を持続・発展させるため、JRと北陸三県が連携した新たな通年キャンペーンに合わせて、西日本(関西圏・中京圏)においても四季を通じた誘客の促進を図る。

- <事業の概要>**
- (1) 大手私鉄グループ(阪急電鉄、名古屋鉄道等)とのタイアップによる誘客促進
 - ・電車・駅構内でのポスター掲出等
 - ・旅行商品造成・販売
 - (2) JR西日本グループとのタイアップによる誘客促進
 - ・旅行商品造成・販売、店頭での観光PR等
 - (3) JAFとのタイアップによる誘客促進
 - ・会員向けプレゼントキャンペーンによるドライブプラン等の観光情報の発信
 - (4) 観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - ・百貨店で開催される物産展会場での観光PR
 - (5) プラネタリウムでの観光PR
 - ・関西圏のプラネタリウムでの観光PR動画の放映等
 - (6) 「食博覧会・大阪」への出展
 - ・4年に1度大阪市内で開催される日本最大級の食のイベント(4/28～5/7)での観光PR

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	13,000	7,017	6,903	9,259	9,011	8,877	

事業費						
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算		3,000	8,000	10,500	21,000
	決算		3,000	7,646	10,500	21,000
一般財源	予算		3,000	0	0	10,500
	決算		3,000	0	0	10,500
事業費累計		0	3,000	10,646	21,146	42,146

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	関西・中京圏からの入込客数については、鉄道事業者と連携した誘客プロモーション等を行った結果、それぞれ、ほぼ前年並みの約2,792千人、約1,950千人となり、開業前の平成26年比ではそれぞれ約110.7%、約99.7%となった。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	見直し	北陸新幹線敦賀延伸も見据え、JRと北陸三県等が連携した誘客キャンペーンに加え、新たに、マイカーでの旅行者を対象とした取り組みなど、関西・中京圏の旅行特性等も踏まえた誘客対策を行うことで、関西・中京圏からの更なる誘客の強化を図る。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	プロスポーツチーム連携誘客促進事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	誘客戦略課		
成	職	氏名	主事 玉木 真生		
者	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3945			

<事業の背景及び目的>
 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツへの関心が高まる中、本県において地域密着型のチームづくりを目指して活動している県内のプロスポーツ3チームと連携し、三大都市圏等において観光PRを実施する。

<事業の概要>
 (1)事業内容
 ・三大都市圏等でのアウェイゲームにおいて、県内のプロスポーツ3チームが行う観光PRへの支援を実施

(2)連携先(県内プロスポーツ3チーム)
 ・ツエーゲン金沢(サッカー)
 ・石川ミリオンスタース(野球)
 ・金沢武士団(バスケットボール)

(3)PR方法
 ・石川の観光地やチームを応援する内容を記載した横断幕の掲出
 ・観光PRブースの設置(チームスタッフによる観光パンフレットの配布等) など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていた石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753	
事業費							
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	予算					4,080	
	決算					4,079	
一般財源	予算					2,040	
	決算					2,040	
事業費累計		0	0	0	0	4,079	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	三大都市圏等でのアウェイゲームにおいて、ツエーゲン金沢の11試合、石川ミリオンスタースの11試合、金沢武士団の14試合でパンフレットやノベルティを配布することにより、多くの来場者に石川の観光をPRし、積極的な情報発信を図った。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けて、県内プロスポーツチームと連携した三大都市圏等における観光PRに取り組む。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 誘客プロモーション事業費	事業開始年度: H25	事業終了予定年度:	ほっと石川観光プラン2016	作成者	組織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	職・氏名 主事 玉木 真生		電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3945	

<事業の背景及び目的>
 石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、三大都市圏等の重点エリアにおいて積極的にプロモーション活動を行い、本県への誘客を図る。

- <事業の概要>
- (1) 観光PRイベント等への出演
 - ・県内外のイベント等に出演してプロモーション活動を実施
 - (2) ホームページを活用した情報発信
 - ・「ひやくまんさん」公式ホームページの維持管理
 - (3) ノベルティグッズによるPR
 - ・「ひやくまんさん」のノベルティを作成し、県内外での観光PRに活用
 - (4) 維持管理
 - ・「ひやくまんさん」の修繕等

施策・課題の状況

施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	B		
課題	石川ならではの魅力の発信				
指標	観光入り込み客数	単位	千人		
目標値	現状値				
平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753

事業費

(単位:千円)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算					15,000
	決算					15,000
一般	予算					15,000
	決算					15,000
事業費累計		0	0	0	0	15,000

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」は、平成25年10月のデビュー以来、平成29年度末までに、2.5日に1回のペースで県内外のイベントなどに出演し、観光PRに取り組んできました。また、「ひやくまんさん」が、全国や首都圏エリアのテレビ番組に取り上げられた回数は56回におよび、これらは広告換算額で約13億円に相当することから、非常に大きなPR効果を発揮している。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間等のあり方を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	引き続き、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けて、「ひやくまんさん」を活用した観光PRに取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 JR連携誘客キャンペーン事業費	事業開始年度: H29	事業終了予定年度:	ほっと石川観光プラン2016	作成者	組織 誘客戦略課
	根拠法令・計画等	職・氏名 主任主事 濱口 紀一郎		電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3944	

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線金沢開業3年目以降も、開業効果の持続・発展を図っていくため、JRと北陸三県等が連携し、年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。

- <事業の概要>
- (1) キャンペーン全体スケジュール
 平成29年 4月～11月 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン
 平成29年12月～平成30年3月 ジャパニーズビューティ北陸キャンペーン
- (2) 事業内容
- ① 情報発信の強化
 - ・イベントにおける出向宣伝
 - ・季節毎のポスターやガイドブック等によるPR
 - ② 旅行会社施策の強化
 - ・大手旅行会社のプロジェクトチームによる商品開発
 - ・旅行会社店頭説明用の観光素材資料集の作成
 - ・旅行会社店頭社員現地研修の実施
 - ・旅行会社店頭販促キャンペーンの実施

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	B			
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
	指標	観光入り込み客数	単位	千人		
	目標値	現状値				
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753
事業費						
	(単位: 千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算					11,500
	決算					11,500
一般	予算					5,750
財源	決算					5,750
事業費累計		0	0	0	0	11,500
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客プロモーション活動を行った結果、観光入込客数は、前年比約100.7%の約24,753千人、平成26年比も約114.5%と開業効前を大きく上回った。				
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間等のあり方を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	引き続き、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けて、JRと北陸三県等が連携し、年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。				